

みどりの食料システム戦略の目指す姿

みどりの
食料シス
テム戦略

温室効果ガス削減

- 農林水産業のCO₂ゼロエミッション化（100%削減）
- 農林業機械・漁船の電化・水素化技術の確立【2040年までに】
- 化石燃料を使用しない園芸施設への移行
- 農山漁村における再生可能エネルギーの導入



農林水産省
九州農政局

環境保全【2050年までに】

- 化学農薬の使用量を50%低減
- 化学合成肥料の使用量を30%低減
- 有機農業の面積を100万ha（25%）に拡大



林野

- エリートツリー等の活用割合を90%に拡大
（CO₂の吸収率が高く、成長速度が速い樹木の増加）



水産

- 漁獲量を2010年程度（444万トン）まで回復【2030年までに】
- ニホンウナギ、クロマグロ等の養殖での人工種苗比率100%を実現



食品産業【2030年までに】

- 事業系食品ロスを2000年度比で50%削減
- 食品製造業の労働生産性を30%向上
- 飲食料品卸売業の売上高に占める経費の割合を10%に縮減
- 持続可能性に配慮した輸入原材料調達の実現

